

企画書	作成者	作成日
	爲我井 匠	2025年10月14日

テーマ	大原に特化したポートフォリオ型企業マッチングアプリの開発
依頼内容（目的）	
<p>企業と就活生のミスマッチングや早期退職を減らすシステム</p> <p>学生が学校で制作した成果物（ポートフォリオ）を通じて、就職活動の面接では把握することができないプログラミングスキルを企業にアピールすることで、入社後のスキルのミスマッチや離職率低減を目指すプラットフォームです。</p> <p>学生と企業間のミスマッチを解消し、より質の高いマッチングを実現します。</p>	
企画内容（アイデア）	
<p>学生側の機能</p> <p>◎学校の授業や課題で作成したプログラム、デザイン、レポートなどの成果物をアプリ上のプロフィールに投稿し自身のポートフォリオを構築できる。自己紹介動画やプレゼン動画も挙げられる</p> <p>△学生間でのコミュニケーションの掲示板を設ける（名前は出したい人だけ出すそのほかは匿名）</p> <p>◎スカウトを貰った企業と個別チャットができる</p> <p>○企業が出した課題や企業名など検索できる</p> <p>◎企業をお気に入り登録したら企業にチャット申請を送れる</p> <p>◎設定でスカウトに表示するかしないか選択可</p> <p>学校側の機能</p> <p>◎生徒がお気に入り登録や閲覧した企業、インターン、説明会、応募対象が学校側から確認できる</p> <p>◎学校側から企業に生徒を推薦できる</p> <p>◎先生からのコメントが書ける</p> <p>△or○生徒にスカウトを送った企業と連絡が取れる。ZOOMと連携してビデオ通話など</p> <p>企業側の機能</p> <p>◎プロフィールを設定する際OB、OGとのコンタクトが取れるかなどの可否</p> <p>◎学生のポートフォリオを閲覧でき、成果物のレベルや内容を確認できる</p> <p>◎学生に対してスカウトすることでメッセージでやり取りを行うことができる。</p> <p>△企業は課題を投稿できる</p> <p>○スケジュール登録をさせ、それを過ぎたらアンケートを自動発行、結果を教員に共有</p> <p>AIの機能</p> <p>◎企業と学生のマッチ度を表示AIにより判別</p> <p>ポートフォリオに投稿したものをAIで5段階にレベル分け、レベルの信頼性を高めるため教員のコメントを補正で付け加える</p> <p>有料プラン</p> <p>無料プラン:スカウト回数月3回 学生のチャット申請があったらチャット可</p>	

ベーシックプラン: 月30,000円 スカウト回数月20回 企業からチャットを送れる  
プレミアムプラン: 月60,000円 スカウト回数50~100回 企業が教員に直接チャットを送れる

#### 資金計画

##### ◇開発費用

時給2500×8時間×3.5か月×5人=7,000,000円

##### ◇収益

- ・全国の大原の校数: 116校  
100,000/月×116校×12か月=139,200,000円
- ・大原に求人を出す企業数: (仮)3,000社
- ・有料プランが全体のうちベーシックプランが3%、プレミアムプランが2%  
30,000/月×90社×12か月=324,000,000円  
60,000/月×60社×12か月=432,000,000円

#### 対象者（提案先やシステム利用者）

大原就活生  
企業  
学校

#### 事前検証（情報）

大原ではスキルポート型の就活をやっていない

現在早期退職が問題になっている

新卒学生の内定率の超若干低下

地方、中小企業の人材確保の難しさ（労働人口の減少、過疎化、若者の都市部集中などにより地方や中小企業での募集があっても集まりにくい）

仕事観・価値観の変化とワークライフバランス重視（若い世代で、給料・安定性だけでなく「働きやすさ」「自分の時間」「社会的意義」などを重視する人が増えており、企業側の働き方・制度・労働環境がそれに追いついていないという声。これは入社後の定着率にも関わる問題です）

競合

Careermap(キャリアマップ)

<https://biz.careermap.jp/>